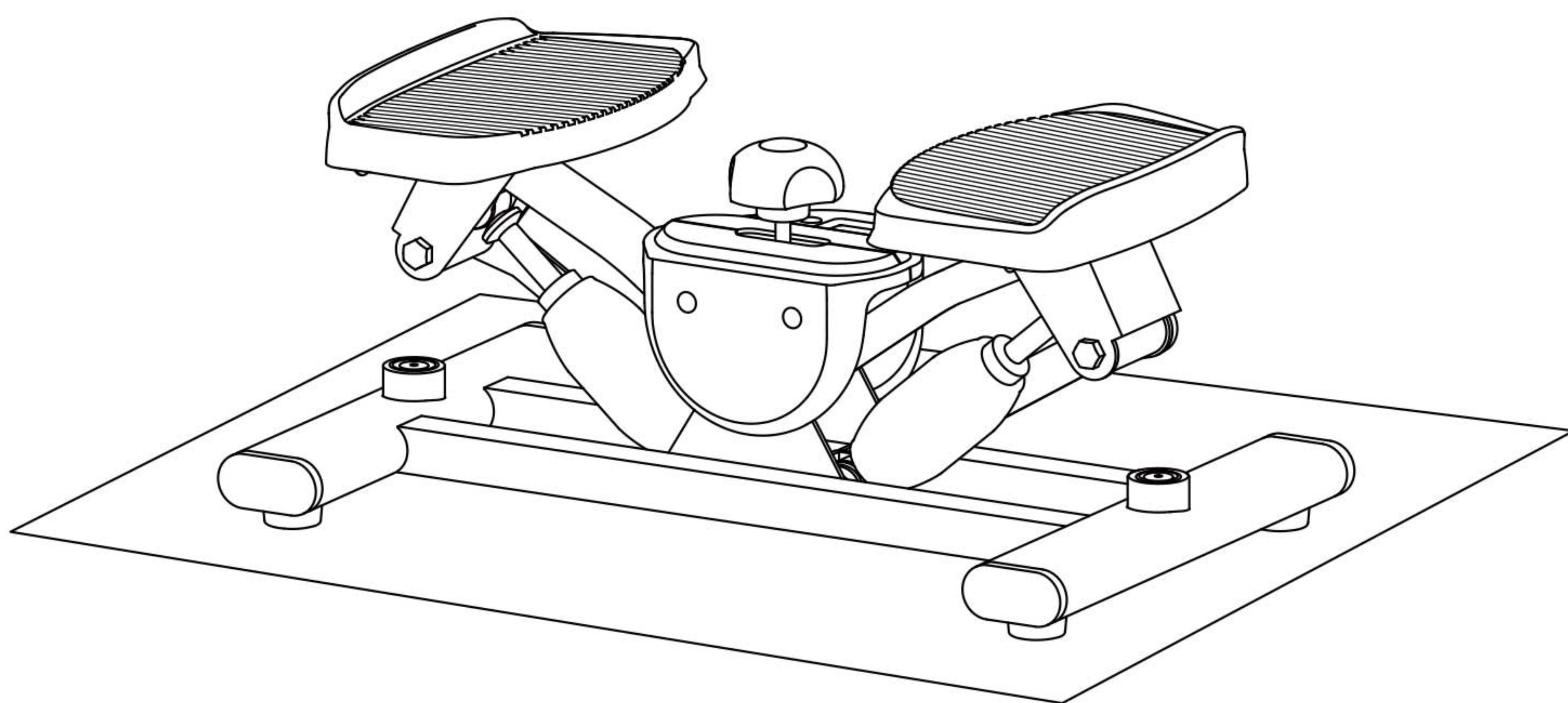


エアロライフ サイドステッパー THE MAX 20 DR-3885

取扱説明書(保証書付)



このたびは《エアロライフ サイドステッパー THE MAX 20》をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しくお使いいただくために、ご使用の前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

エアロライフ「ホームページ」のご案内

ホームページでは新製品情報や、商品に関するさまざまな情報を届けしております。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.modernroyal.com/>

エアロライフ

検索



Contents

安全上のご注意	2・3
各部の名称	4
コンピューターの操作方法	5
負荷調節の操作方法	5
負荷調節を使ったトレーニング方法	6
ステップ位置(重心)を変える トレーニング方法	6
効果的なトレーニング方法	7・8・9
お手入れの仕方	10
困ったときのQ&A	11
商品仕様・保証規定・保証書	12

ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

- お読みになった後は、お使いになる人がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ここに示した注意事項はご自身や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示に区分して説明しています。

 警告	「使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の内容」です。
 注意	「使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害※の発生が想定される危害・損害の内容」です。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を、次の記号で説明しています。

	禁止の行為であることの内容です。
	行為を強制、または指示する内容です。

安全に運動を行うために

⚠ 警告

	<p>医師の治療を受けている人や、次のような症状のある人は、使用する前に医師と相談の上、ご使用ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓に障害のある人 ・熱の高い人 ・血圧に異常のある人 ・生理中の人 ・妊娠中、またはその可能性のある人 ・貧血ぎみの人 ・現在腰痛の人や、過去に腰や背中、足を痛めたことのある人 ・変形性関節炎、リウマチ、痛風の人 ・骨そしょう症など骨に異常のある人 ・医師から運動を禁じられている人 <p>※事故や体調不良をおこすことがあります。</p> <p>※使用中、体に異常を感じた時には、直ちに使用を中止してください。そのまま続けると症状が悪くなることがあります。</p>
	<p>本体を他の用途に使用しない。</p> <p>使用前には取扱説明書に記載してある使用方法を必ず読み、適正に使用する。</p>

	<p>体重が100kgを超える人は使用しない。</p> <p>本製品は一般家庭用なので、業務用として使用しない。</p> <p>フットプレートと本体のすき間に手などを入れない。</p> <p>子供に使用させない。また使用中は子供を近づけない。</p> <p>身体のバランス維持が困難な高齢者の人は使用しない。</p>
---	--

⚠ 注意

	<p>同時に二人以上で使用しない。</p> <p>食後および飲酒後は使用しない。</p>
---	--

ご使用に関して

⚠ 注意

 !	運動靴を履いて、運動しやすい服装で行う。 運動量は徐々に増やし、無理をしない。 体調が悪い時は、使用しない。 初心者や高齢の方はゆっくり行う。 素足やスリッパ、靴下履きで運動しない。転倒及び爪や指をケガする危険があります。
 !	使用中に痛みを感じたら、すぐに使用をやめる。 ステップ運動を初めて行う時は、壁や手すりなどにつかり、バランスをとって行う。 使用前に各ボルト・ナット・ねじを締め直し、安全確認を行う。

使用場所について

⚠ 警告

 !	周囲に物を置かない。 屋外、ベランダ、高温多湿、直射日光のあたる場所で使用しない。 本体に水のかかりやすい場所で使用しない。
 !	平坦な場所で使用する。 危険防止のため、ご使用前に本体が滑らないか、安全性を必ず確認する。 ※同梱されている保護マットは、床、じゅうたん、畳などにキズ、跡、汚れなどを防止するためのものです。

故障を防ぐために

⚠ 警告

 ! 分解禁止	本体を勝手に改造・修理・分解しない。
 !	本体に重いものを置いたり、落としたり、強い衝撃を与えたたりしない。

お手入れと保管

⚠ 注意

 !	高温多湿、直射日光のあたる場所に放置・保管しない。 転倒しそうな場所、子供が触れる場所に放置・保管しない。 本体のお手入れの時に、シンナー、ベンジン、アルコール、酸性洗剤、漂白剤などは使用しない。
 !	長期間使用しなかった時は、使用前に動作の確認をする。

各部の名称

■商品検査時の組立跡についてのご案内

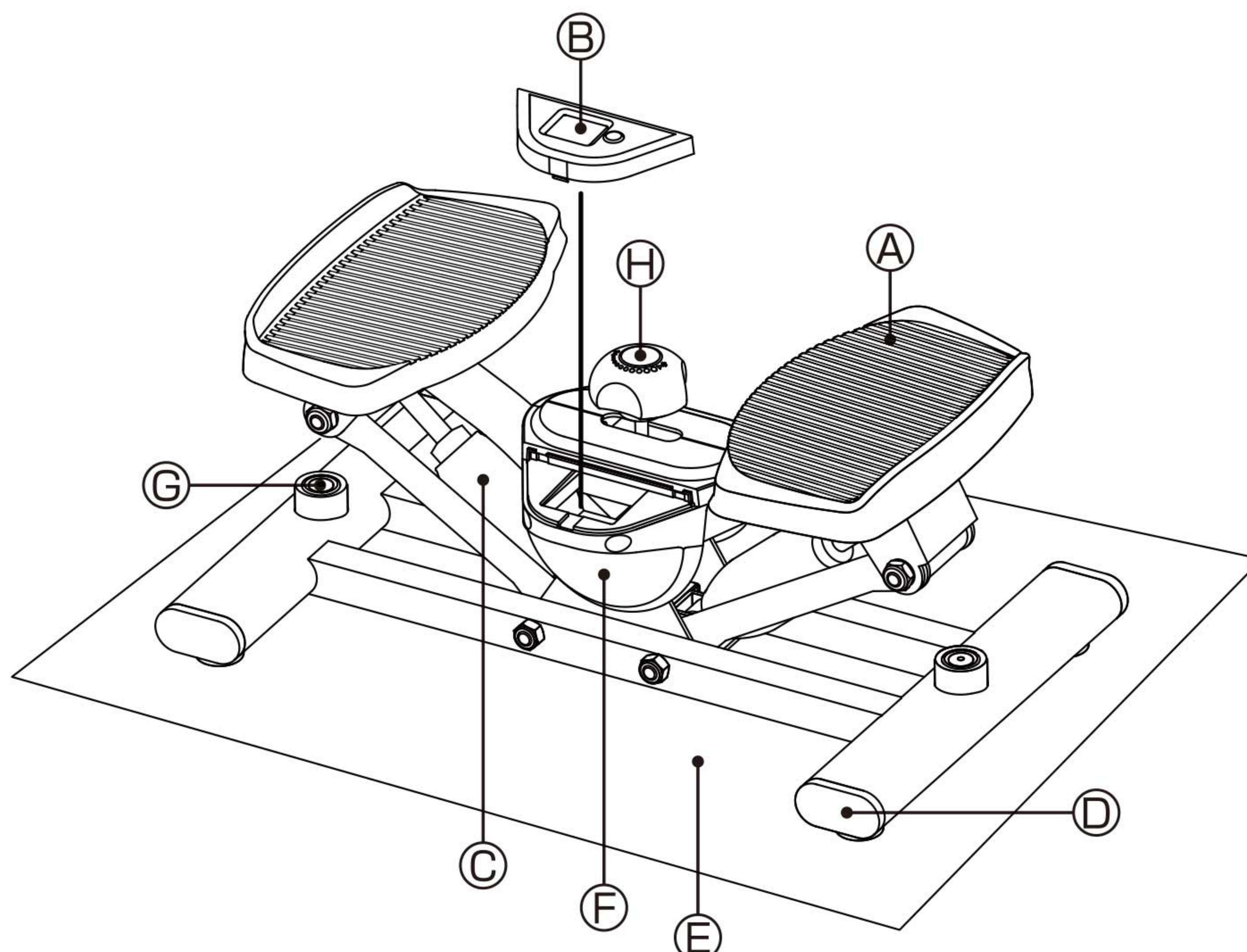
お届けしました商品の結合部分にスリ合わせた跡がついているものもありますが、これは商品検査時についたものです。誠に恐れ入りますがご了承くださいますようお願い申し上げます。

■初めてのステップが重く感じる。(この現象は使い始めのみに起こります。)

オイルシリンダー内部に作動性を良くするために、潤滑油を使用していますが、硬化する場合があり、使いはじめは、ステップが重く感じます。ストロークは小さくゆっくりと、数分間作動してください。徐々に軽くなります。

■オイルシリンダーの特性

オイルシリンダーは通常の使用でも発熱やシュー・シューという音が出ます。これはシリンダー特性のため、ご了承くださいますようお願い申し上げます。



■パーツリストと名称 取扱説明書・品質保証書×1

記号	部品名称	数量
Ⓐ	フットプレート	2
Ⓑ	コンピューター（モニター用電池付属）	1
Ⓒ	オイルシリンダー	2
Ⓓ	フレームエンドキャップ	4
Ⓔ	保護マット	1
Ⓕ	保護プラカバー	2
Ⓖ	クッションゴム	2
Ⓗ	負荷調節ダイヤル	1

※取扱説明書、品質保証書は一緒に保管してください。

■ご使用の注意

●ご使用の時、床などにキズ跡をつけないために必ず保護マットを敷いてください。

万が一、滑りやすい場合は、別に滑り止めマットを用意してからご使用ください。

●運動による振動でボルトナット、ネジが緩む場合があります。ご使用前に各ボルトナット、ネジを締め直し、安全を確認。フットプレート裏側のネジも必ず締めてください。

コンピューターの操作方法

★コンピューターは本体に既にセット済です。

コンピューターの数値が表示しない場合は、電池を外し、再セットしてご使用ください。

■コンピューターの操作方法

- ・運動を開始するか、キーを押すと画面に数値が表示されます。
- ・キーを押すと時間→カロリー→カウント／分→自動送りの順に繰り返し表示します。
- ・キーを約3秒間押し続けると全数値がリセットされます。



■自動送りについて



約4秒間隔で自動的にモードを切替表示します。

■各モードの表示範囲

時 間／0:00～99:59(分:秒)

回 数／0～9999(回数)

ステップ回数は運動中、常に表示します。

カウント/分／0～9999(回数／分)

カウント回数は、運動中の1分間の平均ステップ回数となります。ステップしていないと、表示は0表示のままです。

カロリー／0～9999(kcal)(推定計算値)

オートパワーオフ機能

運動終了後、約4分間放置すると、自動的に表示画面が消えます。

■電池の交換

文字表示が薄くなりましたら、電池をお買い求めいただき、電池をお取り替えください。

- 1.コンピューターの上蓋を図1のように外します。
- 2.電池を外します。
- 3.図2のように+極と-極を間違えないように電池を入れます。
- 4.元に戻します。

図1 引き上げる

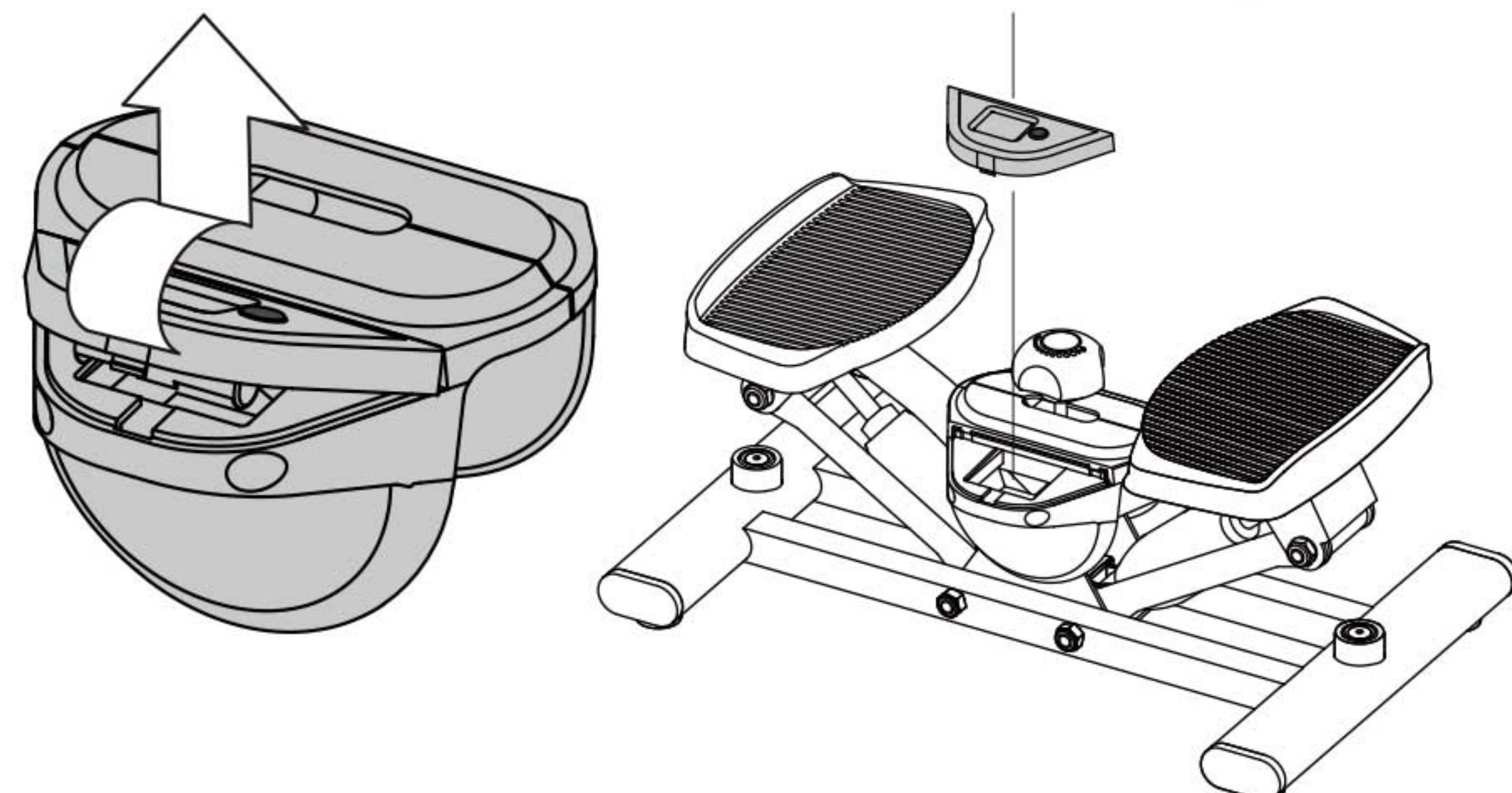
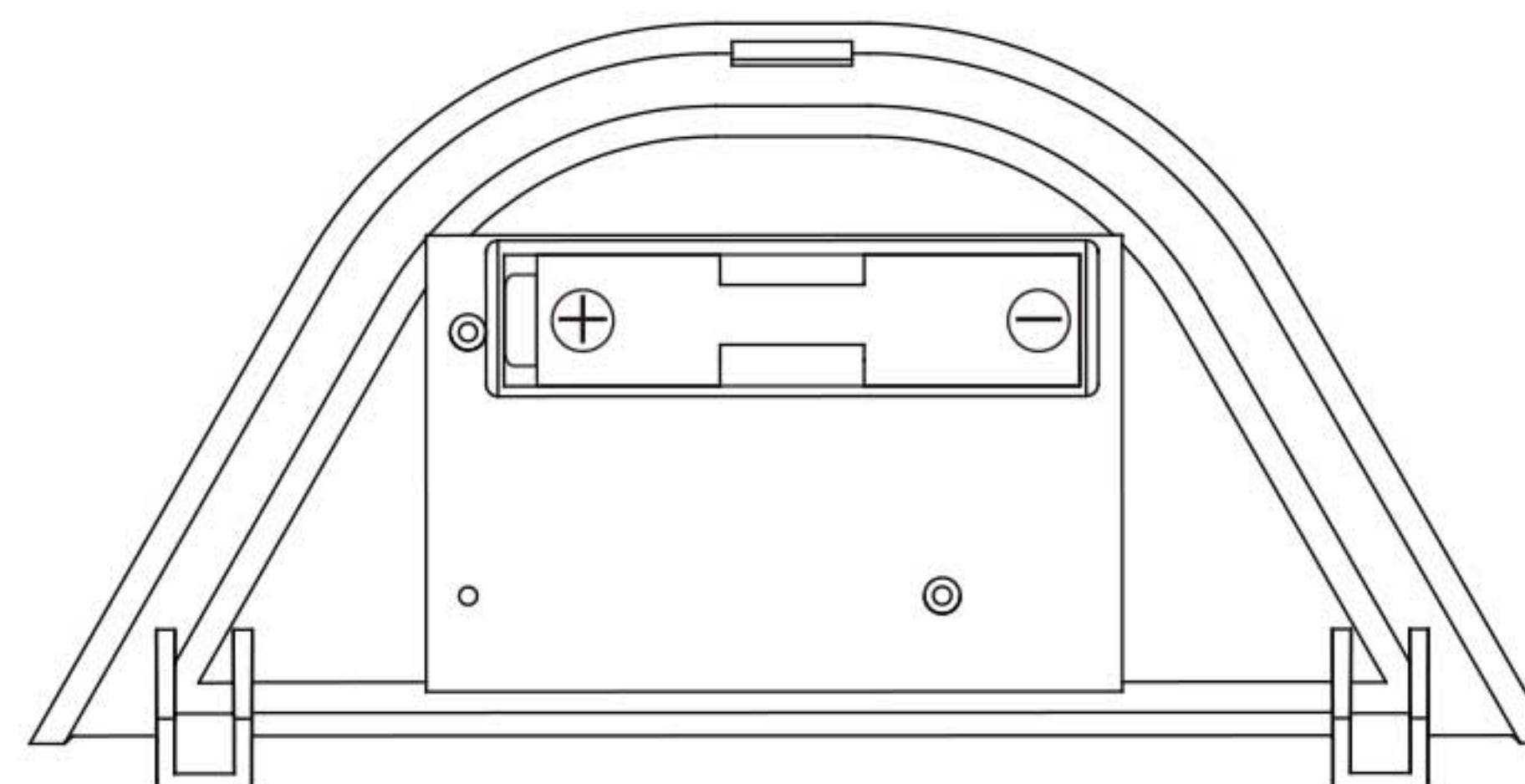


図2 コンピューター上蓋裏面



△注意 電池

電池を誤使用すると発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

- ・ニッカド電池(充電式電池)は、絶対に使用しない。
- ・古い電池と新しい電池や、色々な種類の電池を混ぜて使用しない。
- ・+極と-極を正しく入れる。
- ・長期保管の際は、必ず電池を外す。

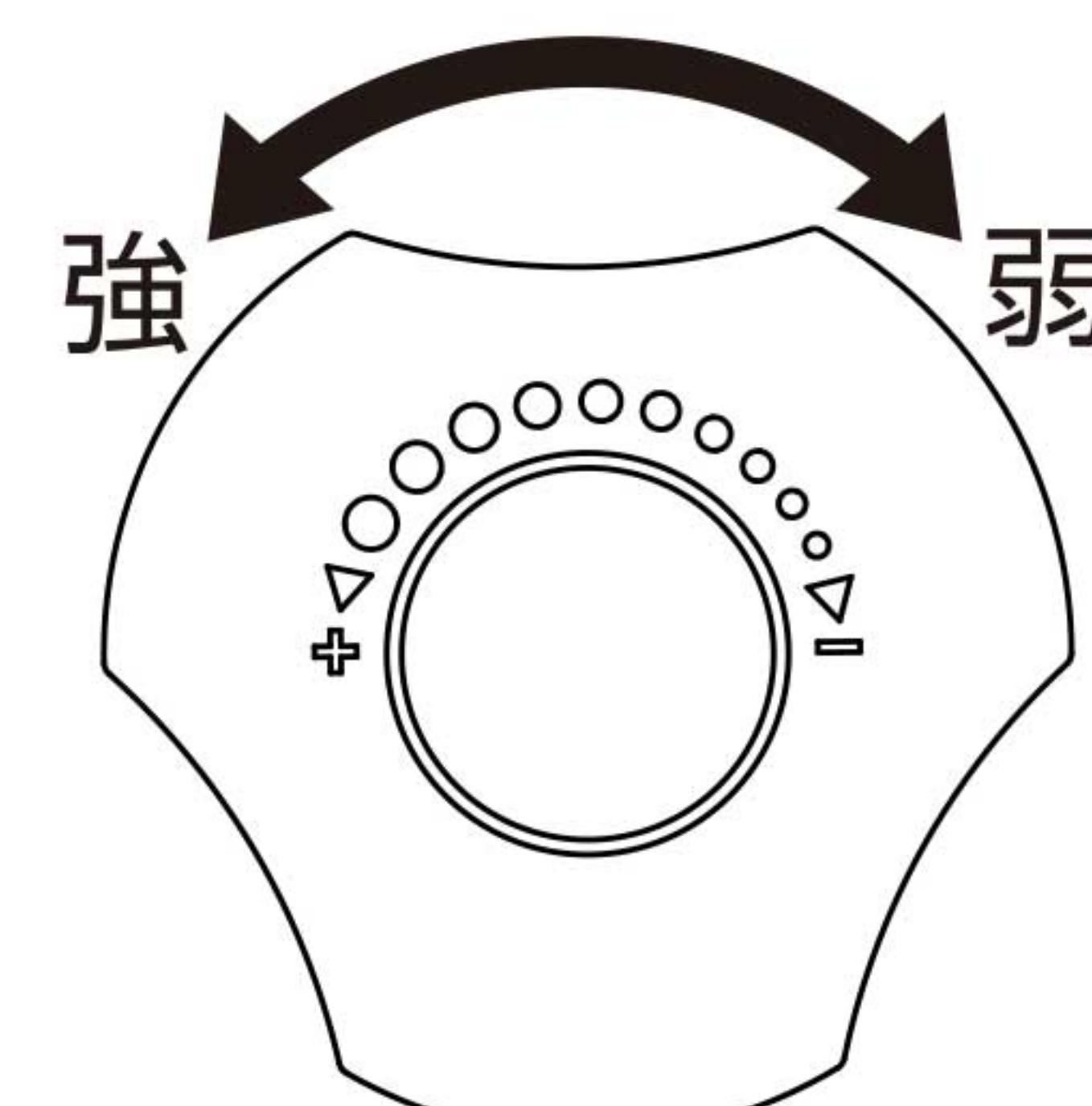
※製品に入っている電池はモニター用です。すぐに表示が薄くなる場合があります。その際は新品の電池をご使用ください。

負荷調節の操作方法

■負荷調節ダイヤル

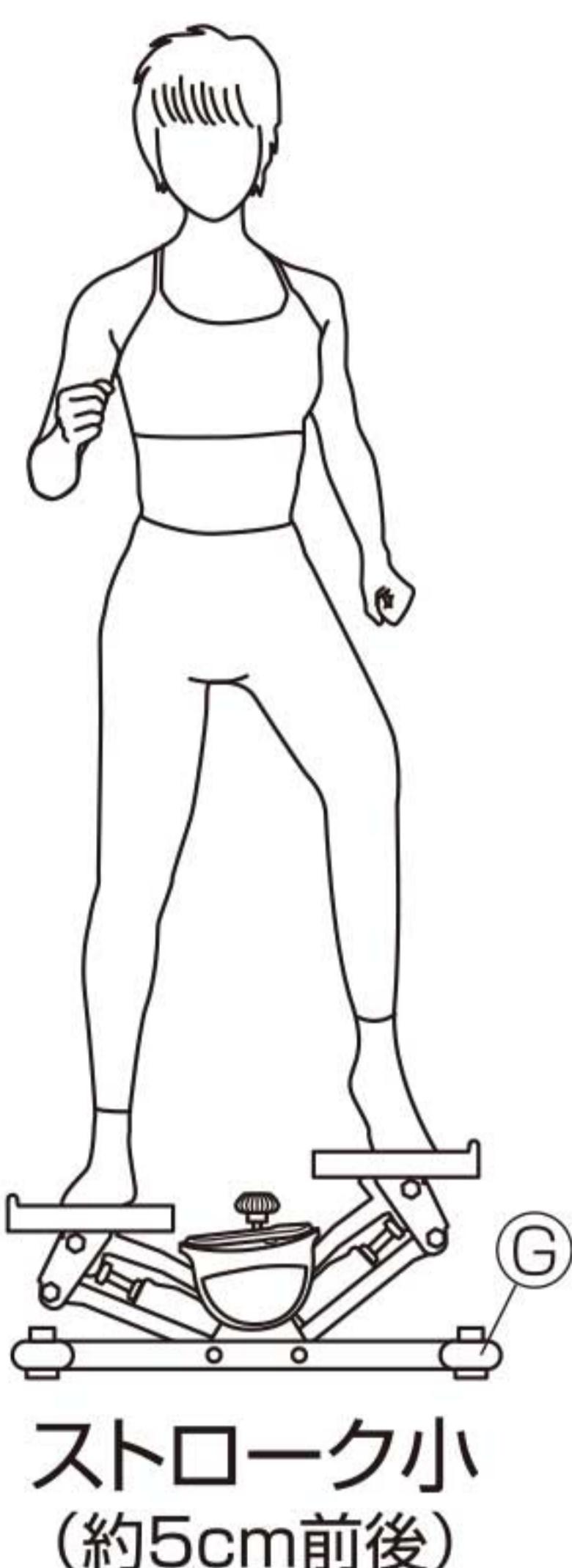
④負荷調節ダイヤルを左右にまわして負荷の強弱を調節します。

ダイヤルを+方向にまわすと負荷が強くなり、-方向にまわすと負荷が弱くなります。



負荷調節を使ったトレーニング方法

初心者のステップ運動



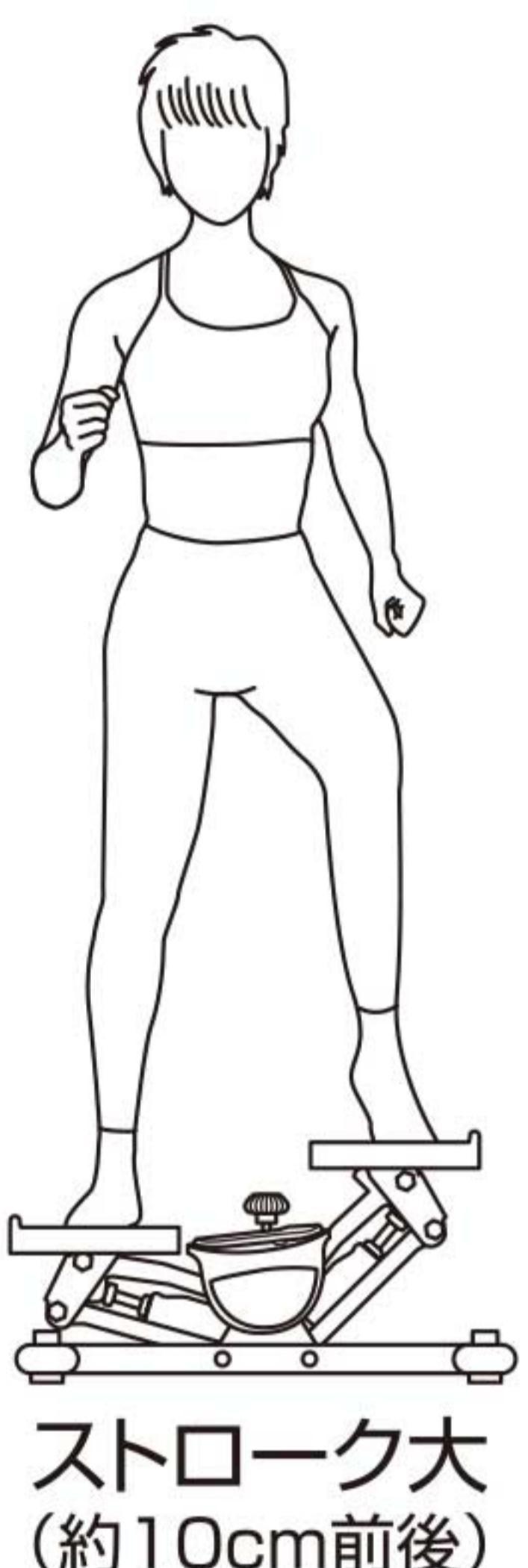
〈運動方法〉

- ①負荷調節ダイヤルは○方向にまわし出来るだけ負荷を弱くして行ってください。
- ②壁などに手を付きバランスをとります。
- ③運動ストローク(踏み込み幅)は3~5cm前後の足首を動かす程度でリズミカルにステップを行います。
- ④慣れてきたらストローク(踏み込み幅)を深くして行きます。

ここがポイント

- ⑥クッションゴムに着くまで踏み込まずに途中で止めるように行ってください。
- リズミカルなステップ運動で「バランス感覚」や「太もも」、「ふくらはぎ」の筋肉を効果的に強化します。
- 運動に慣れてきたら負荷レベルを強くして行います。

上級者のステップ運動



〈運動方法〉

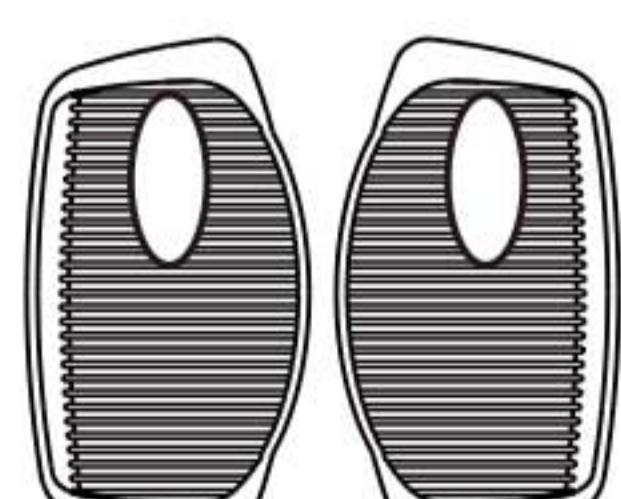
- ①負荷調節ダイヤルは⊕方向にまわし負荷を強くして行ってください。
- ②胸を軽く張り、肩は自然に下げ、ステップに合わせて腕を大きく振ります。意識して後ろに腕を引くとウエスト・背中の運動効果も高まります。
- ③足の裏全体でフットプレートを押し込むように踏み込みます。運動ストローク(踏み込み幅)はクッションゴムに当たらない程度に深く踏み込みます。

ここがポイント

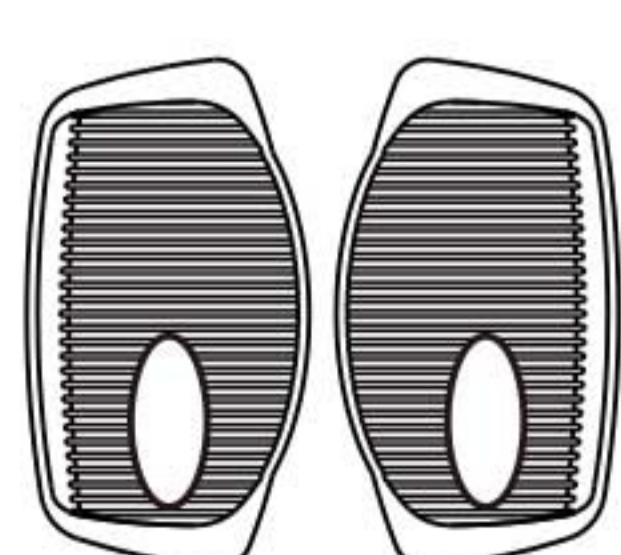
- ⑥クッションゴムに着くまで踏み込まずに途中で止めるように行ってください。
- 押し込むように踏み込むことでより「太もも」、「ふくらはぎ」、また「お尻」の筋肉まで効果的に強化します。
- 運動に慣れてきたら出来るだけ速くステップ運動を行います。

ステップ位置(重心)を変えるトレーニング方法

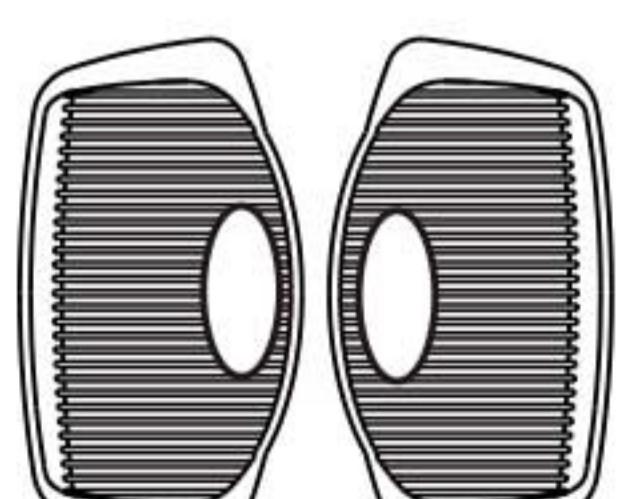
ステップ運動のとき踏み込む重心を変える事で鍛えたい部位を選んで強化できます。



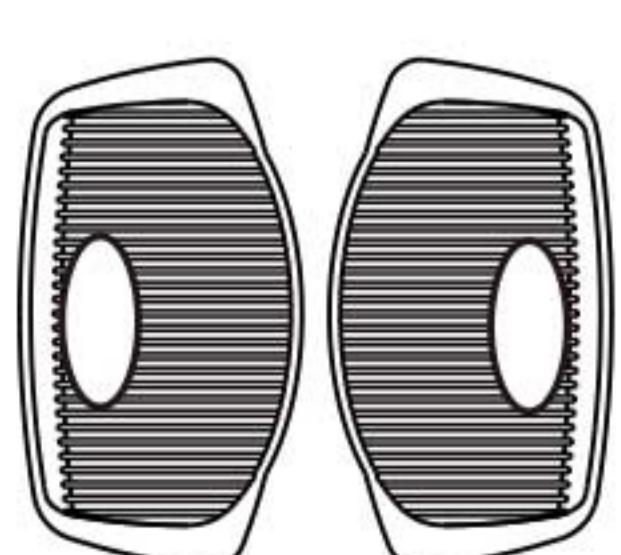
- ・つま先に重心を置き、ステップ運動を行えば、主にふくらはぎを効果的に強化します。



- ・かかとに重心を置き、ステップ運動を行えば、主に太もも・お尻を効果的に強化します。



- ・内側に重心を置き、ステップ運動を行えば、主に太もも内側を効果的に強化します。



- ・外側に重心を置き、ステップ運動を行えば、主に太もも外側を効果的に強化します。

効果的なトレーニング方法

トレーニング上の注意

■初心者は無理のないトレーニングを

トレーニングウエアとスポーツシューズを使用し、初心者や高齢の方は運動動作をゆっくり行い、徐々に運動量を増やし、決して無理をしないでください。また、体調が悪い場合は、トレーニングを休み、定期的な健康診断をお受けください。身体のバランス維持が困難な高齢の方は使用を避けてください。

※スポーツシューズは、事故防止と足首・膝への負担軽減のため着用をお願いいたします。

■トレーニング時間と休憩について

初心者は、1セットを5分として1~2セット行い、セット間は2~3分の休憩を取り、無理をしないでください。この試運転期間は5~7週間行い、慣れてきたら12分（有酸素運動の成立時間です）を1セットとして2~3セット、体力の優れている人は4~5セットでもOK。セット間は2~3分の休憩を取り、障害予防のために翌日疲労が強く残る強度は避けてください。

※体力には個人差がございますので、無理のないようにご自分のペースでトレーニング時間を設定してください。

■呼吸方法

普通の呼吸で特に息を止めて力むことが無く、話が出来る程度の強度で、楽しく行ってください。

乗り降りの注意

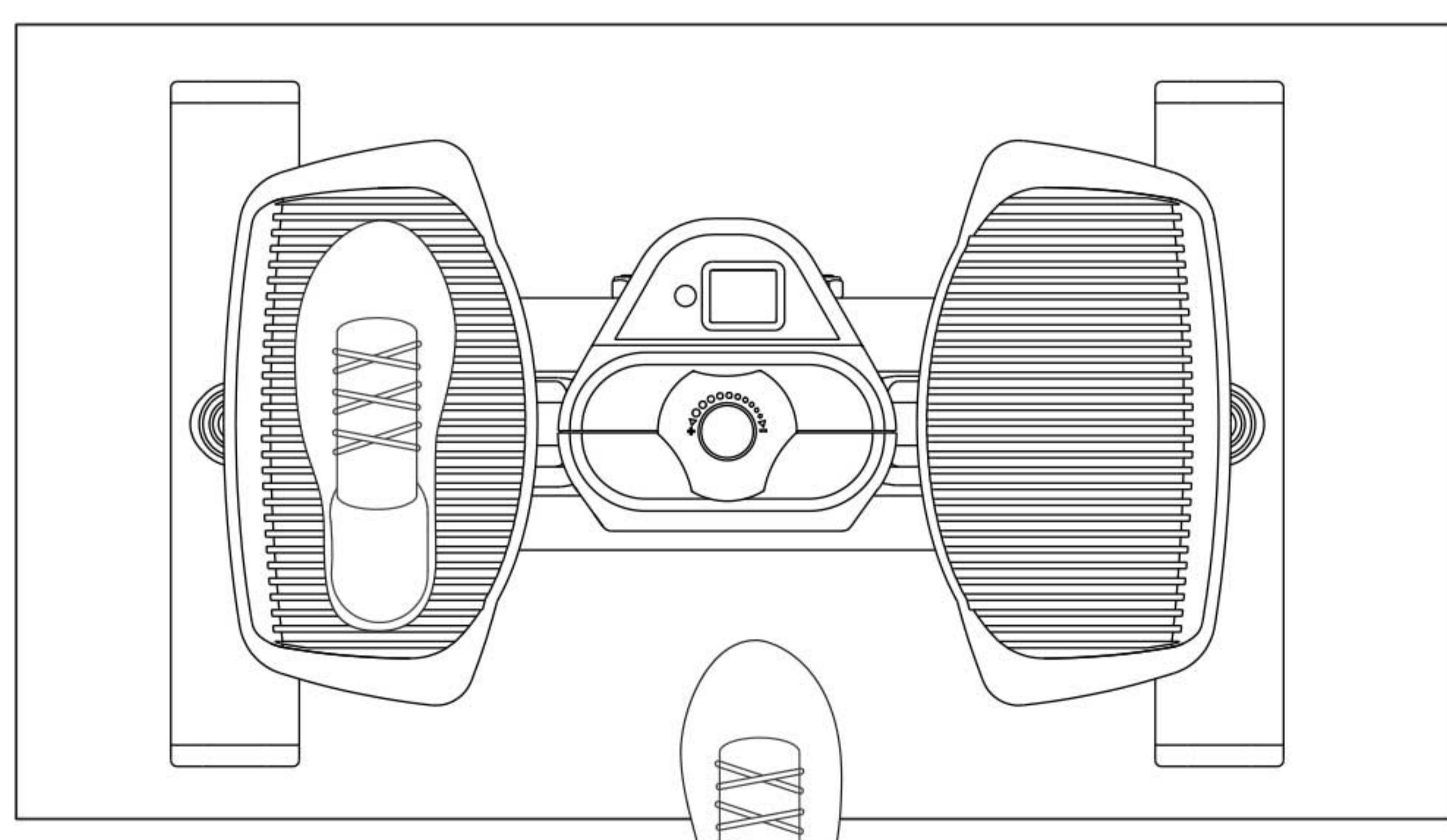
安全にご使用頂く為に、下記に示した注意・警告項目を良くお読みの上、正しくご使用ください。

△注意 保護マット

! 同梱されている保護マットは、床、じゅうたん、畳などにキズ、跡、汚れなどを防止する為のマットです。危険防止の為、ご使用前に本体が滑らないか、安定性を必ず確認下さい。万が一、滑りやすい場合は、別に滑り止めマットを用意してからご使用ください。

△警告 安全に乗り降りを行うために

- ! 乗り降りを行うときは正面を向き、足の位置はフットプレートの中心に置いてください。
- ! 乗るときは、片足を保護マットに乗せ、もう一方の足は低いフットプレート側から、壁や手すりなどを握りバランスを取って乗ります。
- ! 降りるときは、高いフットプレート側から保護マットに足を乗せるように降ります。
- ! 転倒する危険があります。高いフットプレート側から乗らないようご注意ください。



※ご使用の際は、必ず片足を保護マットに乗せてから、フットプレートへお乗りください。

トレーニング方法

「△安全上のご注意」をよくお読みのうえお使いください。トレーニングの前後にストレッチを行うことにより思わぬケガを防ぎ、より効果的なトレーニングを行いましょう。

■ステップ運動について

ステップ運動は階段上がりやジョギングと同様なエネルギー消費量が期待できる運動です。階段上がりのエネルギー消費量は平地歩行運動の約2.4倍で、平地歩行運動は1分間体重1kg当たり0.057kcalで、60kgの人が10分間で34.2kcalとなり、階段上がりは0.1349kcalであり、80.94kcalとなり、減量に効果的な運動です。減量を目的とする場合、脂肪をエネルギーとして使う運動の強さは最大脈拍数の55~65%で、このときの脈拍数は年齢によって違いますが、100~120拍/分位を老若の目標にして、長時間の運動を継続してください。運動時間はエネルギー消費量に正比例します。

運動不足予防に必要な運動量

厚生省保険医療局健康増進栄養課が発表した[日本人の栄養所要量]によれば日常生活活動強度の少ない人(軽い労働の人)の場合、1日につき男子200~300kcal、女子100~200kcalの運動によるエネルギー消費が必要。これを具体的な運動種目と運動時間で見ると、次の表のようになります。

■日常生活活動と運動のエネルギー消費量

(男女/29歳・概算値 単位:kcal)

生活活動または運動	時間とエネルギー消費量			
	10分	20分	30分	60分
普通の歩行（通勤、買物）			100	200
階段の昇り降り	60	120		
ラジオ体操	30	60		
なわとび	100	200		
サイクリング（時速10km）			240	
エアロビクス、ジャズダンス			150	300
ゲートボール				190
テニス				420
ジョギング（120／分）		140	210	420
水泳（ゆっくり）			180	360

厚生省保険医療局健康増進栄養課編[健康づくりのための食生活指針]よりこの表によれば、1日につき男子は約30分、女子は約20分程度のジョギングが必要ということになります。なお、参考のために男女、体重などによる消費カロリーの違いをまとめた表も掲載しております。

■ウォーキング、ジョギングにおける

1時間あたりの消費カロリー概算例

(ウォーキング：散歩程度のゆっくり歩行／約分速30m)
(ジョギング：分速120m 年齢：20~29歳)

性別	男 子		女 子	
体 重	60kg	70kg	50kg	60kg
消費カロリー (ウォーキング)	90kcal	105kcal	70kcal	90kcal
消費カロリー (ジョギング)	360kcal	420kcal	290kcal	350kcal

厚生省保険医療局健康増進栄養課編[日本人の栄養所要量]より

効果的なトレーニング方法

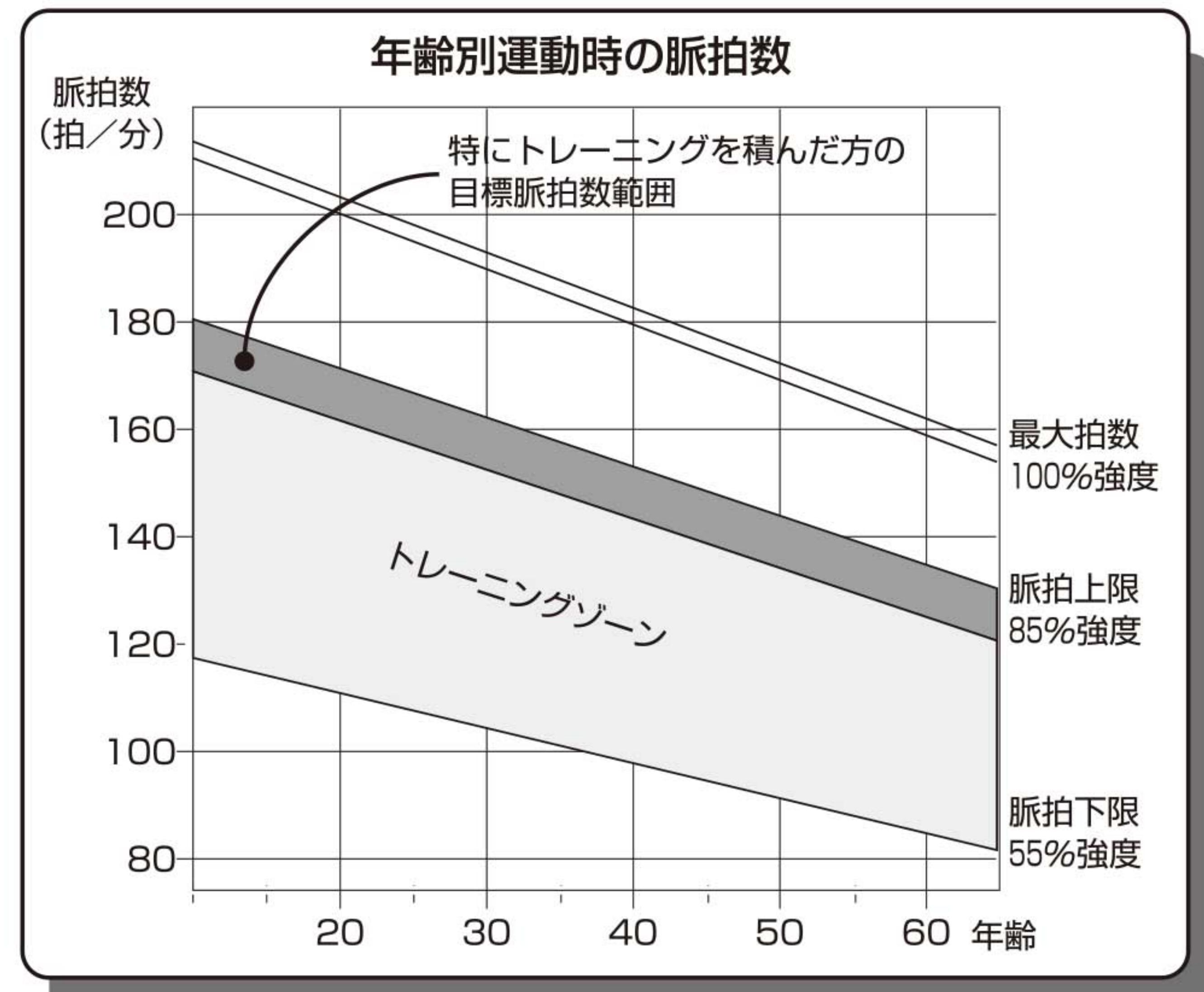
運動強度と脈拍(心拍)数＝安全なトレーニングのために

健康の維持増進に適度な運動が必要です。運動から遠ざかっていた人が、急に過激な運動を行うことは、かえって健康を損なう恐れがあります。心拍数をバロメーターとした運動強度のとらえ方について説明しておきます。次に示す表は、運動時における目標心拍数を年齢別にあらわしたものです。

■年齢別至適強度時の心拍数(個人差がある)

年 齢	心拍数(拍／分)55%強度～85%強度
20	110～170
25	107～166
30	104～162
35	102～157
40	99～153

年 齢	心拍数(拍／分)55%強度～85%強度
45	96～149
50	94～145
55	91～140
60	88～136
65	85～132



※アメリカのAFAAでは、有酸素運動中の目標心拍数を55%～85%で示しています。この数値はアメリカのAFAA(Aerobics and Fitness Association of America)で発行のAerobics Theory & Practiceで発表された有酸素運動中の目標心拍数を求める推算式{(最高心拍数=220-年齢)×0.55～0.85}によって算出したものです。例えば40歳の人が運動を行った時の至適強度は、脈拍数が99～153の範囲内にあり、これ以下では運動強度が弱すぎるし、これ以上では運動強度が強すぎるということになります。運動不足気味で体力に自信のない人の場合は99程度の強度の運動を行うことで、安全で効率的な運動が行えます。

■運動強度と脈拍(心拍)数

例) 40歳の方

$$220 - 40(\text{歳}) \times 55\% \sim 85\% = 99 \sim 153$$

となります。

初めは70%位を目標に少しづつ上げていく事をお薦めします。

※運動時間、心拍数などは目安で、個人差がありますので無理をしないようにご自分のペースで運動してください。

運動強度・時間・頻度

前出のAFAAによれば、エアロビクスを行う前提条件として、至適強度時の心拍数を保つこと以外に、運動継続時間は12~60分、頻度は週2~5日としています。1週間に1度、1~2時間運動を行う方法では、的確な運動効果が期待できないというわけです。次に掲げる表は、1週間に必要な合計運動時間と、その際の目標心拍数を年代別に分類したものです。AFAAのいう条件と併せて、あなたの運動スケジュールをたててみましょう。

■強度／中程度の必要運動量

年　代	20歳代	30	40	50	60
1週間の合計運動時間	180分	170	160	150	140
目標心拍数(拍／分)	130	125	120	115	110

厚生省保険医療局健康増進栄養課編[健康づくりのための運動所要量策定委員会]より

■強度／やや強程度の必要運動量

年　代	20歳代	30	40	50	60
1週間の合計運動時間	90分	85	80	75	70
目標心拍数(拍／分)	145	140	130	125	120

厚生省保険医療局健康増進栄養課編[健康づくりのための運動所要量策定委員会]より

目的別トレーニングプラン

■健康増進—呼吸循環器系の強化と足の筋肉の強化

安全圏内での目標心拍数を設定し、1日平均200~300kcalの消費を目指してトレーニングを行います。しばらく運動から遠ざかっていた方は、決して無理をせず、目標値を低くおさえます。逆に体力に余裕のある方は運動のテンポを速め、運動強度を高めます。このような運動で得られた効果は、安静時の心拍数の減少でわかります。心拍数の減少は、心臓から血液の拍出量の増加を示すもので、心容積が拡大する機能の改善にもつながります。トレーニング開始後40日経過時ごろからこの減少傾向は明確になります。

(安静時心拍数の測定:朝目覚めた時に寝たままの姿勢で測定する。)

■脈拍のとり方

左手首に指を当て15秒間の脈拍をはかり、4倍して1分の値としてください。

■美しいプロポーション—過剰な脂肪は肉体美の破壊者

過剰な脂肪は、脚線美、美しいヒップライン、バストからの引き締まった下腹までの曲線美を破壊します。美しさは意識し努力して作るもので、男性でも過剰な脂肪を運動エネルギーに変えて、消費する方法が健康の維持に役立つ最良の方法です。運動が激しければ、エネルギーを多く使い減量に効果があると思われますが、エネルギー源は糖類(炭水化物)が大部分です。脂肪をエネルギーとして使う運動の強さは、最大運動時の55~65%で、この強度で長く運動することです。これが有酸素運動、エアロビクスです。55~65%は、脈拍が年齢によって違いますが、100~120拍／分位を目標にします。楽な運動なので毎日でも可能ですが、最低でも週3~4日、10分以上の継続的な運動が条件です。理想は20~30分ですが1時間でもOK。運動で300kcalを消費すると、脂肪25g、炭水化物25g、合計50gの減量です。半年で3.6kgの理想的な減量ができます。

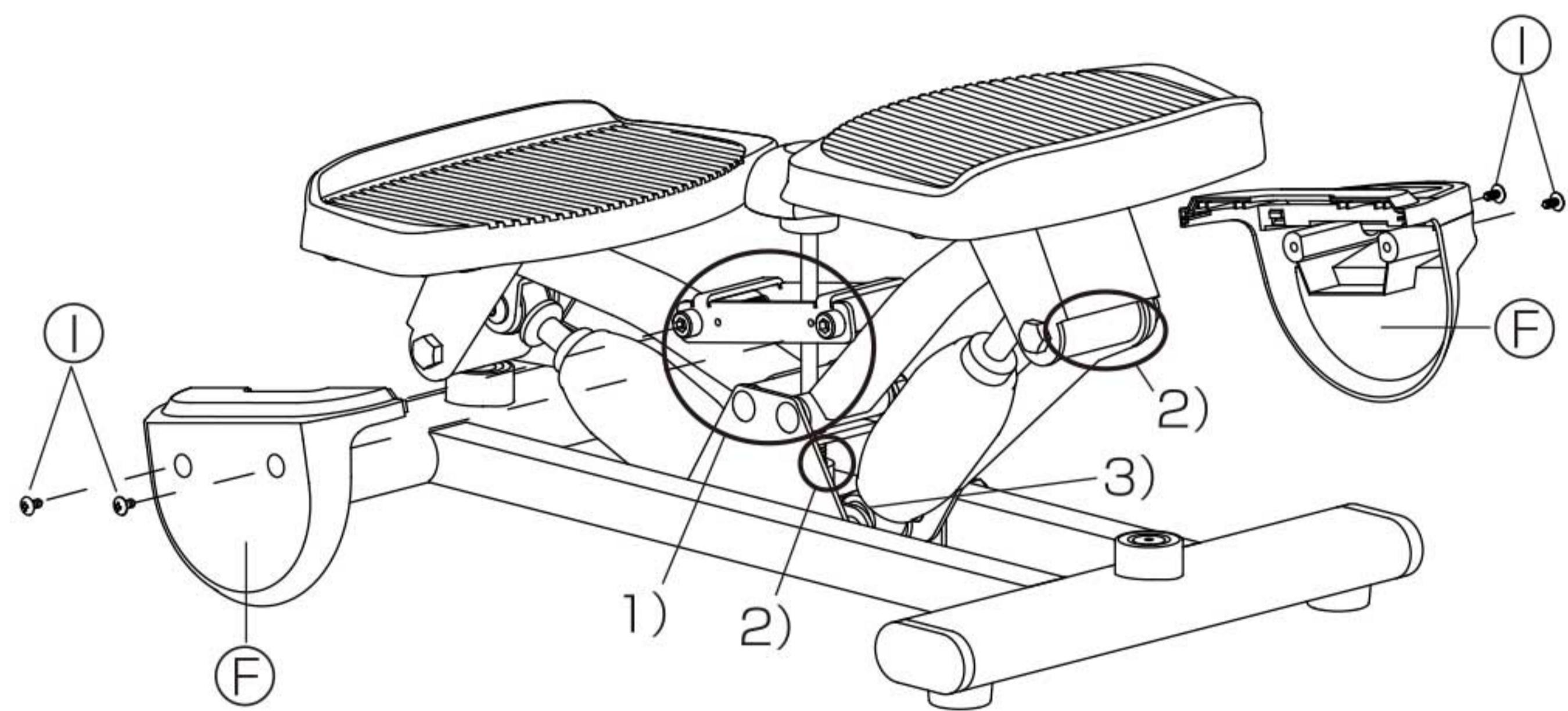
お手入れの仕方

ご使用を続けていますと作動部分より異音が出ることがあります。音が出ましたら、以下の調整を行ってください。
※調整しても異音が消えない場合や、調整方法がよくわからない場合はメーカーまでお問い合わせください。

注油箇所

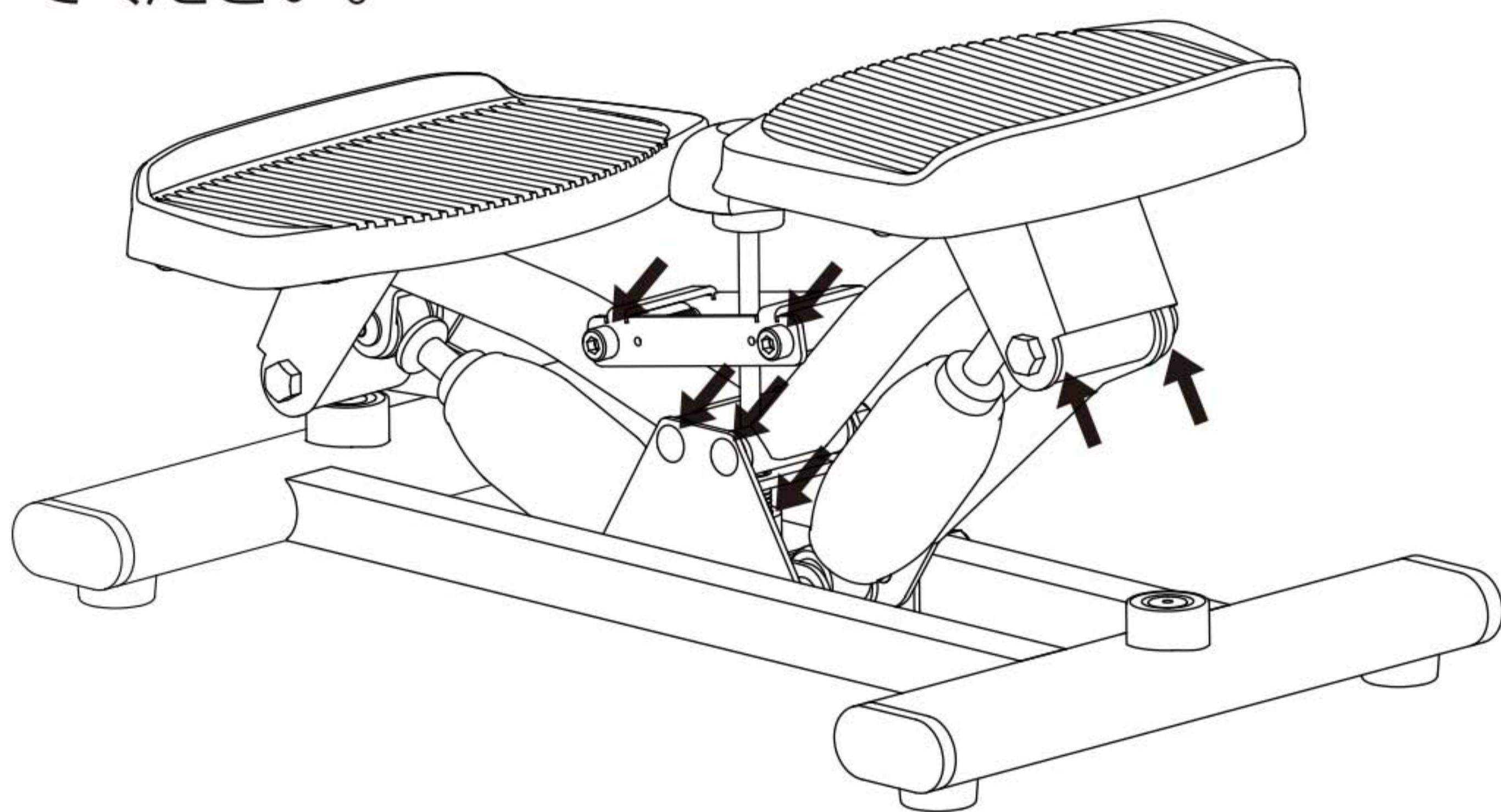
①保護プラカバー用固定ネジを外し、⑤保護プラカバーを外します。

※異音は本体の作動部(駆動部)から発生します。
1)本体ボルト・ナット、2)駆動部、3)シリンダー固定用ボルト・ナットにミシン油や機械油・潤滑油を注油してください。



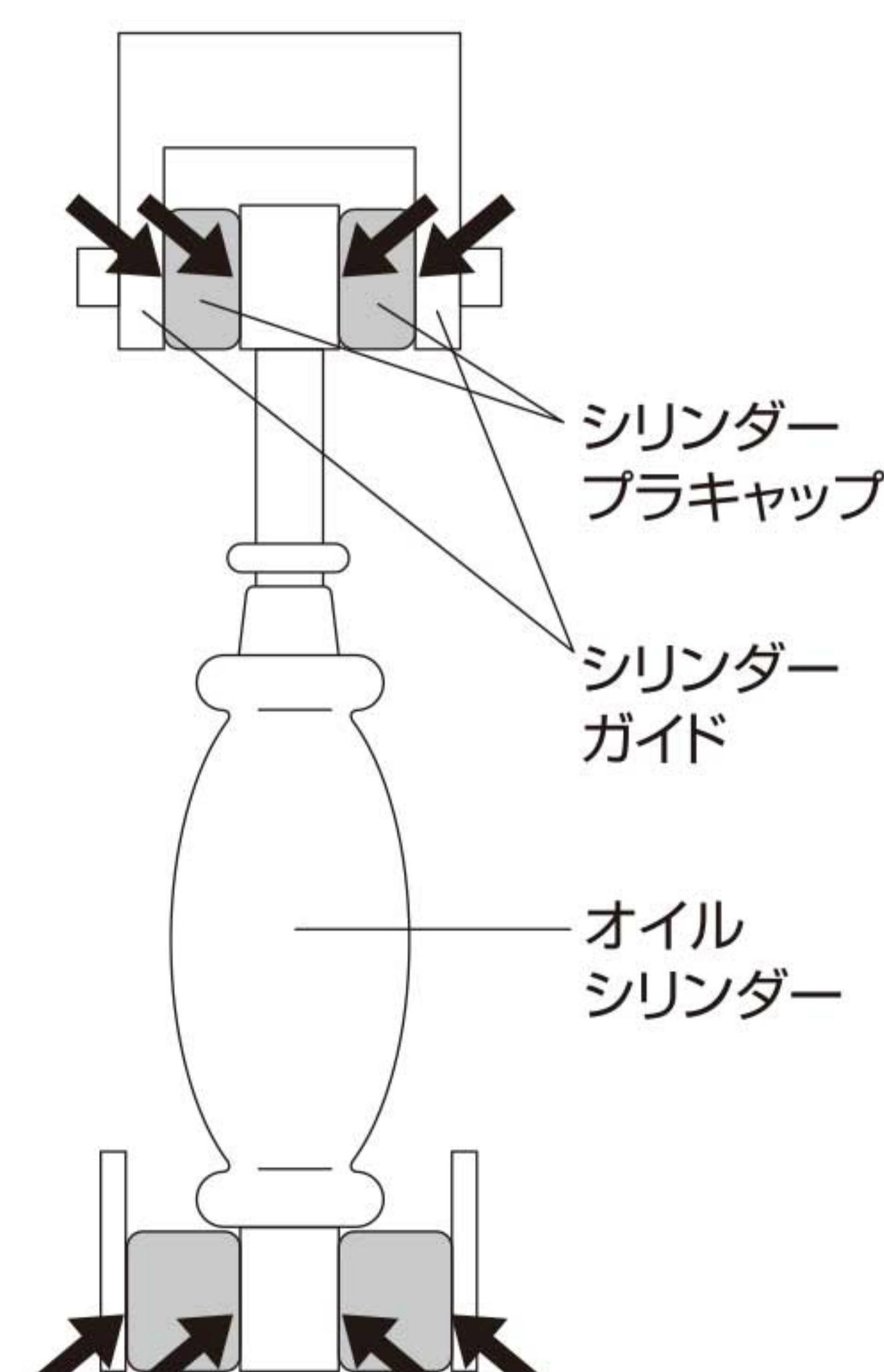
1)本体ボルト・ナット、2)駆動部へ注油

矢印が作動部(駆動部)となります。本体とボルト・ナットの隙間にミシン油や機械油・潤滑油を注油してください。



3)シリンダー固定用ボルト・ナット

オイルシリンダ一部は、シリンダーガイドの内側とシリンダープラキャップの内側にミシン油や機械油・潤滑油を注油してください。オイルシリンダーの上下とも注油してください。

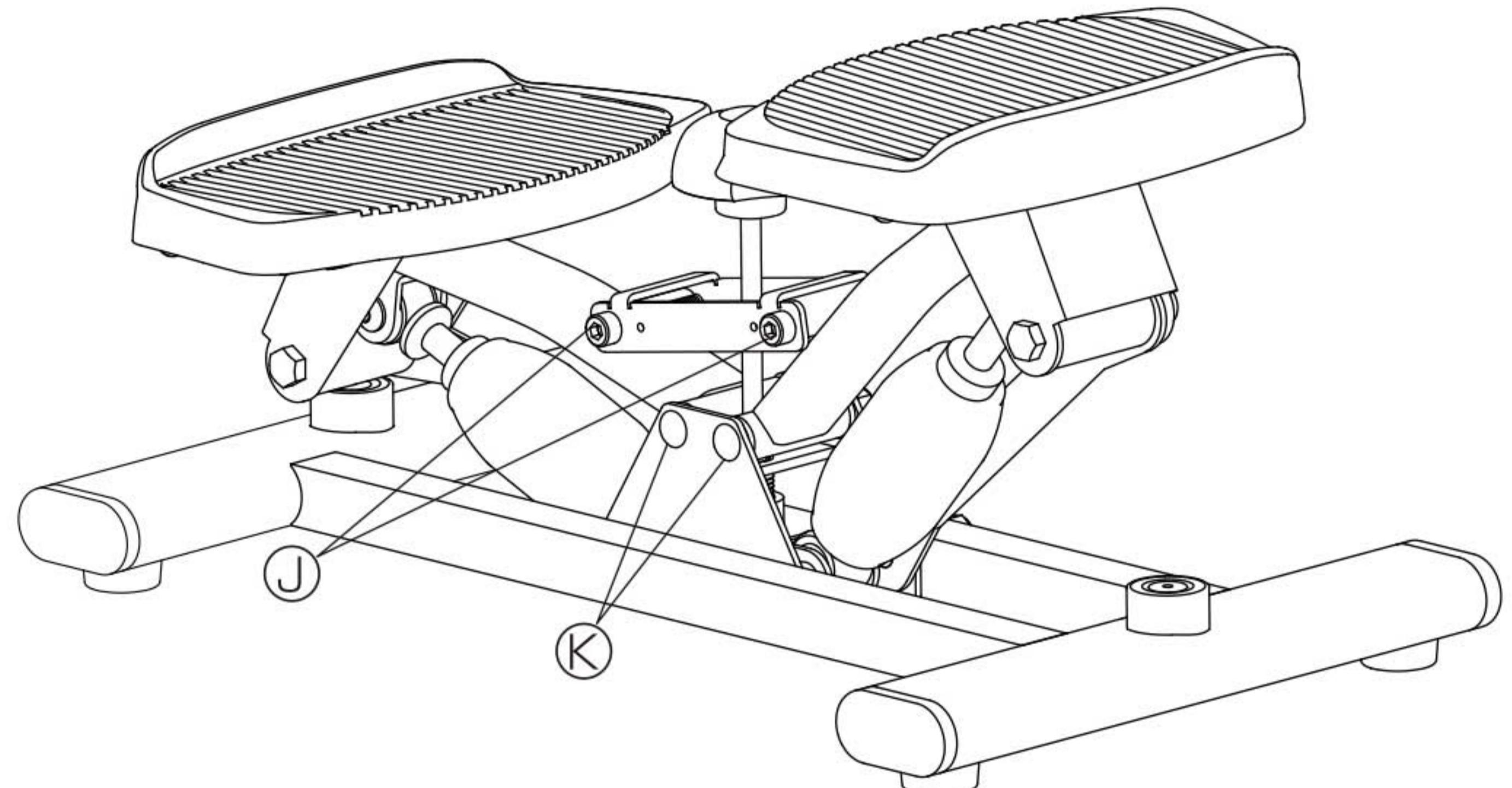


各ボルト、ネジ調整

①支点ボルト、⑩フットフレーム固定ボルトを調整します。

※①ボルトは六角レンチ6mmを使用し、反対側のナットを13mmレンチで固定しながら回します。

※⑩ボルトは④ドライバーを使用し、反対側のナットを17mmレンチで固定しながら回します。



△注意

■お手入れについて

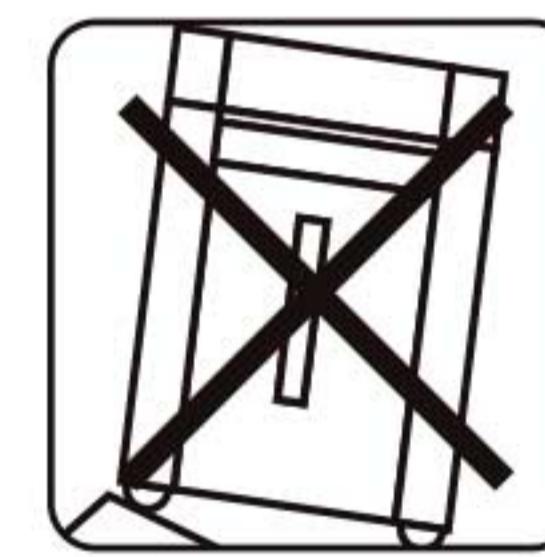


●お手入れの際は、手や指を挟んだりケガをしないよう充分ご注意ください。



●ネジの締めすぎによって、材料を傷める場合があります。ネジ等は少しずつ均等に締めるようにしてください。

■場所について



●転倒、落下にご注意ください。
●水平で安定した場所に置いてください。



●天災などの不可抗力や、お客様のお取り扱いの不注意による破損などは保証しかねますのでご了承ください。

困ったときのQ&A

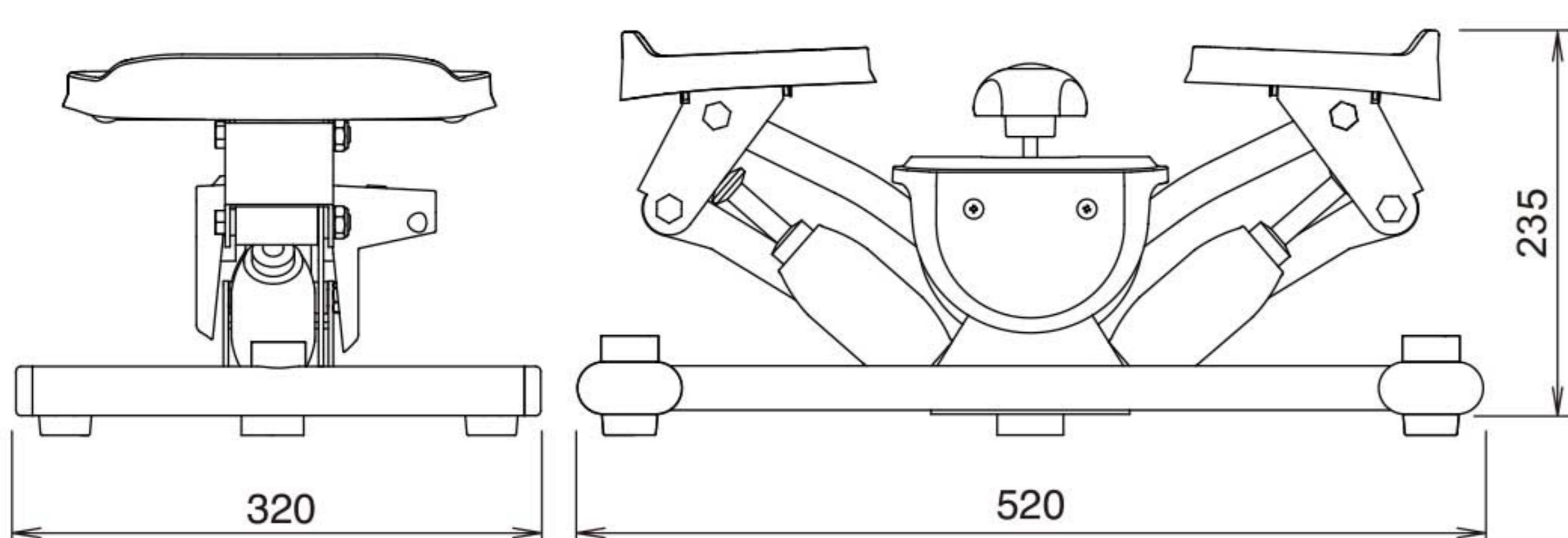
■コンピューターに対するQ&A	原因 & 処理
コンピューターが表示及び作動しない	<ul style="list-style-type: none">●電池が消耗または、逆入れになつていませんか?〈P5参照〉●直射日光の当たる所で使用していませんか? 日差しの当たらない所で使用してください。●運動中、表示が止まってしまう場合は電池を再セットしてください。再セット時は88:88が表示されます。
カウント/分だけ表示されません	<ul style="list-style-type: none">●作動中の平均回数となります。ステップしていないと表示は0のままです。 P5「各モードの表示範囲」参照
■商品に対するQ&A	原因 & 処理
負荷の調節は出来ますか?	<ul style="list-style-type: none">●P5「負荷調節の操作方法」参照●お客様の踏込む速度で調節致します。<ul style="list-style-type: none">・速く踏込む…オイルシリンダーの反発が強くなり負荷が重くなる。・遅く踏込む…オイルシリンダーの反発が弱くなり負荷が軽くなる。
連続使用時間は?	<ul style="list-style-type: none">●1日1時間(連続して1時間のご使用が可能です)
■運動に対するQ&A	原因 & 処理
最後(⑥クッションゴム)まで踏込むの?	<ul style="list-style-type: none">●⑥クッションゴムまで踏みません。慣れるまでは壁に手をついてステップ運動を行えばバランスがとれ、クッションゴムに当らず、運動が行えます。
膝、または腰が痛いのですが?	<ul style="list-style-type: none">●病院にかかりされている方は、担当医師にご相談ください。
■製品に対するQ&A	原因 & 処理
負荷が抜けた、オイルが漏ってきた 異臭がする	<ul style="list-style-type: none">●販売店又は巻末のお問合せ先にご連絡ください。

点検後なお異常がある場合やご不明な点など、お気づきのことがございましたら販売店又は巻末のお問い合わせ先にご連絡ください。

商品仕様・保証規定・保証書

商品仕様

単位: mm



●品名／エアロライフ サイドステッパー THE MAX 20

●品番／DR-3885

●材質／[本体]スチール

[本体力バー]ABS樹脂

[フットプレート]PP樹脂

●適応体重／(約)100kg

●本体重量／(約)8kg

●本体寸法／(約)幅52×奥行き32×高さ23.5cm

●保証期間／1年間

●製造国／台湾

☆製品の仕様、外観などは改良のため予告なしに変更することがあります。

保証規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ)本書の提示がない場合。
(ロ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ハ)お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
(二)火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
(ホ)本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
(ヘ)一般家庭用以外(業務用)に使用された場合の故障及び損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 通信販売等で購入された場合は、商品の送り状に記載された着荷日をお買い上げ日とさせていただきます。
- 消耗品・付属品は保証対象外です。
- 個人情報のお取り扱いについて
お客様よりお知らせいただいた氏名・住所などの個人情報は、当社商品のご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カラダを変えていく。



AEROLIFE

お問い合わせ・発売元

モダンロイヤル株式会社

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-5-6 イマスオフィス馬喰町8F
TEL.(03)5843-6281 FAX.(03)5843-6285 <https://www.modernroyal.com>

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。



0120-88-4450

フリーダイヤル

保証書

この保証書は、保証期間中に、お客様の正常なご使用状態(取扱説明書参照)で、万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	エアロライフ ライフ サイドステッパー THE MAX 20	
品番	DR-3885	
保証期間	お買い上げ日より1年間(本体)	
お買い上げ日	年月日	
お客様	お名前	フリガナ ----- 様
	ご住所	〒
	電話	()
販売店	店名・住所	印
	電話	()
修理内容		

この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。